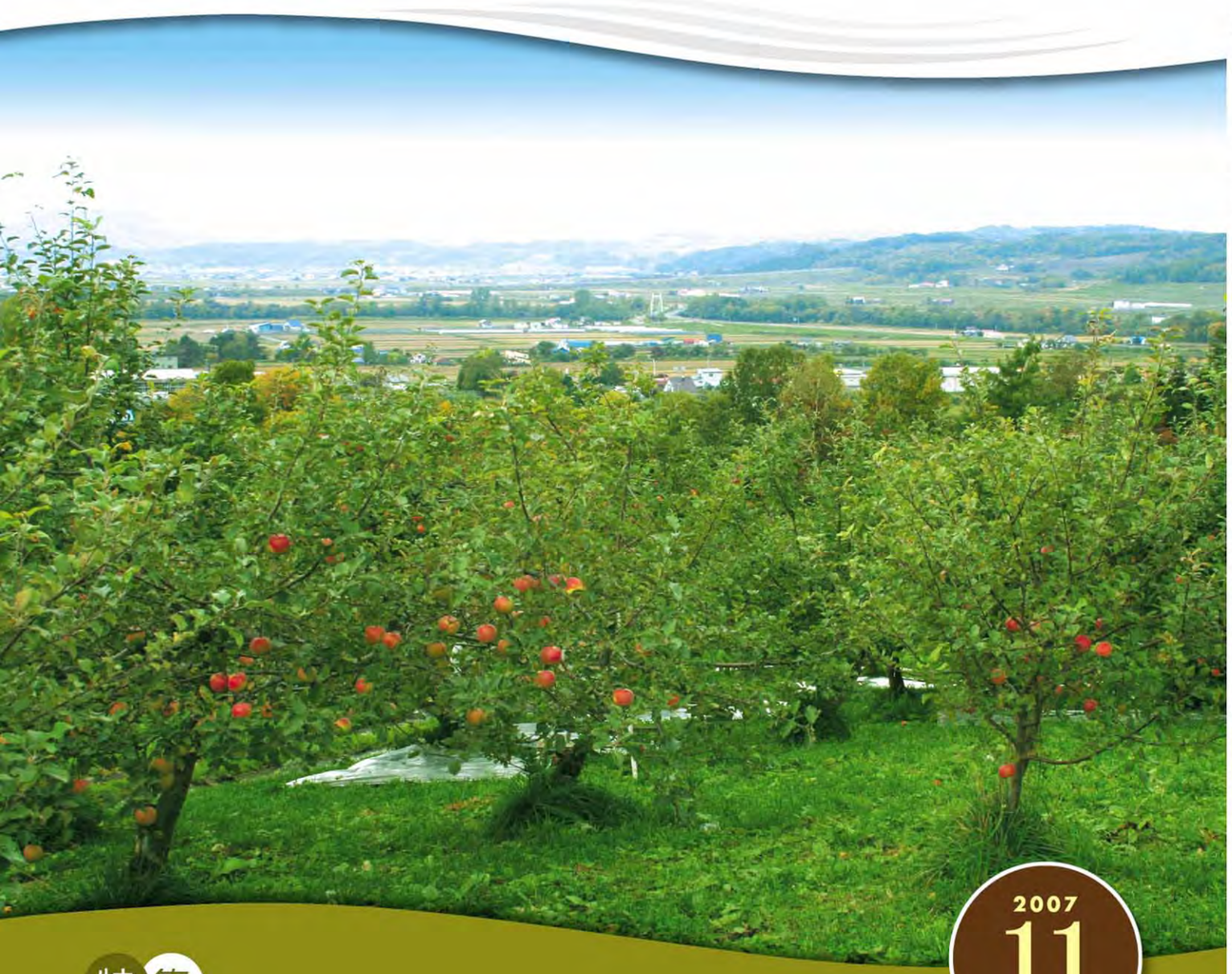
JA ASAHIKAWA

JA あさひかわ



2007
11
vol.35

特集

第2回新米・新そばまつり開催!
新米・新そばの味の競演に舌鼓

農業者年金のお知らせ

●地産地消deレシピ
冬野菜を漬けてみよう！漬け物三題

新入職員農業研修

http://www.ja-asahikawa.or.jp

JA あさひかわ VOL.35 平成19年11月1日発行 ■編集発行あさひかわ農業協同組合 管理部総務課 ■印刷(株)エー・アイピー農文協

灯油定期配送をご利用のお客様に日頃の感謝を込めて

キャッシュリバック キャンペーン

最大
2,500円
キャッシュバック!

※200リットル以上のホームタンクにて
ご利用のお客様に限らせていただきます。

期間：平成19年10月～平成20年3月配送分まで

500リットル以上1,000リットル未満	500円キャッシュバック!
1,000リットル以上1,500リットル未満	1,000円キャッシュバック!
1,500リットル以上2,000リットル未満	1,500円キャッシュバック!
2,000リットル以上	2,500円キャッシュバック!

※ご不明な点は最寄りの給油所へお問い合わせ下さい。

※シーズン終了後、数量を集計し、平成20年4月15日～5月末までの間にキャッシュバック致します。
※組勘・農協貯金引をご利用のお客様は口座へお振込致します。
※その他のお支払方法のお客様は店頭にて現金をお渡し致します。

お申込み・お問い合わせは
JA あさひかわ 経済部燃料課 TEL31-3021

旭正給油所 TEL31-7342
神居給油所 TEL61-2531
西神居給油所 TEL72-2031
永山給油所 TEL48-1028
江丹別給油所 TEL73-2051
豊岡セルフ給油所 TEL38-3122
神居給油所 TEL61-2531
北野給油所 TEL87-3451
神楽セルフ給油所 TEL61-0661

JA あさひかわ
発行所/ あさひかわ農業協同組合
編　集/ 管理部総務課
住　所/ 旭川市豊岡4条1丁目274番地の2
電　話/ 0166-31-0111　FAX/ 0166-31-1555
E-mail/ webmaster@ja-asahikawa.or.jp

特集

第2回新米・新そばまつり開催！

新米・新そばの味の競演に舌鼓

9月22日（土）、23日（日）の2日間、農産物直売所「あさがお」、江丹別そば処「穂の香」において、新米・新そばまつりが開催された。

新米・新そばまつりは、昨年に引き続いてのイベントで、JAあさひかわ産の新鮮で安全・安心な農産物やお米、そばを消費者に知ってもらうことが狙いである。また、〝鮮〟ブランド野菜の品揃えを充実させて、「YES！clean」フェスタも「あさがお」店内で同時に開催した。

「あさがお」では、開店と同時に多くの人々が詰めかけ、平成19年産「あさひかわ米ほしのゆめ」（YES！clean米）の試食コーナーには、訪れた人が炊きたての香りに誘われて、試食を楽しみながら新米を購入していた。

また、お彼岸用に用意された色とりどりの生花も一時間ほどでなくなり、店内は行列が出来るほどの大盛況となった。

一方、「穂の香」では、新米でつくったおにぎりと、新そばをセットにしたメニューを提供し、大好評だった。多目的ホールでは、「そば打ち同好会」の会員8名が熟練の技でそば打ちを披露し、来店者の目を楽しませていた。新そばの風味と新米おにぎりの味の競演の結果、2日間で約1，000食を売り上げ、昨年同様の結果となった。

オープン2年目を迎え、より一層の地域交流を深めるために、今後、「あさがお」では冬場の野菜の充実を会員一丸となって取り組み、「穂の香」においては、そば打ち教室の開催などを予定している。

新鮮な農産物や生花などの買物客で、店内は、行列が出来るほどの大盛況！

新米コーナーでは、炊きたての香りに誘われて、平成19年産JAあさひかわ米の試食を楽しみながら、新米を購入していました。

多くの来店者が予想され、店外にもスペースを設置！

多目的ホールでは、「そば打ち同好会」が、熟練の技を披露し、来店者の目を楽しませていました。

「穂の香」では、昨年同様、新そばと新米おにぎりをセットで提供！2日間で、なんと約1,000食も販売されました！

JA あさひかわ
JAあさひかわ11月号
2007 VOL.35
11

目次

【特集】
第2回新米・新そばまつり開催！
新米・新そばの味の競演に舌鼓 1

農業者年金のお知らせ 4

明日を担う 5
地産地消deレシピ 6
トピックス 7
新入職員農業研修 12
理事会だより 14

表紙写真/
神居地区の二階俊逸さんのほ場

農業者年金のお知らせ

1 農業者年金の仕組み

少子・高齢化、財政事情の悪化などから、年金に対する不安感が広がっていますが、新しい農業者年金は、掛けた保険金原資と運用益を将来年金として受給できます。加入者数や財政事情に影響されにくい、安全・安心な公的年金です。

2 農業者の方なら広く加入できる

国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の人は誰でも加入できます。農地を持っていない農業者や、配偶者や後継者などの家族従事者も加入できます。脱退も自由です。

3 少子高齢化時代に強い年金

自分の年金原資を自分で積み立てる、積立方式の確定拠出方年金です。年金額が加入者・受給者の数に影響されない安定した年金制度で、運用利回りの状況などで保険料が引き上げられることもありません。

4 保険料の額は自由に決めれます

自分が必要とする年金額の目標に向けて、自分で保険料を決められます。月額2万円を基本として、最高6万7千円まで千円単位で選択できます。農業経営の状況や老後設計に応じて、いつでも見直すことが出来ます。

5 80歳まで保証の終身年金

年金は生涯支給されます。仮に加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合でも、死亡した翌月から80歳までに受け取るはずであった農業者老齢年金が死亡一時金として遺族に支給されます。

6 税制面で特例が用意されています

支払った保険料（年額12万円～80.4万円）は全額、社会保険料控除の対象になり（民間の個人年金の場合、控除額の上限は5万円です）、保険料の15%～30%程度という大きな節税効果があります。

7 認定農業者など担い手には保険料の国庫助成があります

認定農業者など一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助（政策支援）があり、基本保険料2万円のうち最高半額、生涯で最大216万円の補助を受けることができます。国庫補助額とその運用益は個人毎に積み立てられ、原則65歳から特例付加年金として受給できます。特例付加年金を受給するためには、農地等の経営継承が必要ですが、経営継承の時期についての年齢制限はありません。自分で積み立てた分については65歳から農業者老齢年金として受給することが出来ます。

■保険料支払による節税効果試算（所得税・住民税）　単位：円

税率	保険料		
	2万円の場合	5万円の場合	6万7千円の場合
15%	36,000円	90,000円	120,600円
20%	48,000円	120,000円	160,800円
30%	72,000円	180,000円	241,200円

■保険料の助成対象者と助成額

区分	必要な要件	35歳未満	35歳以上
1	認定農業者で青色申告者	10,000円(5割)	6,000円(3割)
2	認定就農者で青色申告者	10,000円(5割)	6,000円(3割)
3	区分1または2の者と家族経営協定を締結し、経営に参画している配偶者または後継者	10,000円(5割)	6,000円(3割)
4	認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす者で、3年以内に両方を満たすことを約束した者	6,000円(3割)	4,000円(2割)
5	35歳まで（25歳未満の場合は10年以内）に区分1の者になることを約束した後継者	6,000円	−

※保険料の控除は、35歳未満であれば要件を満たしている全ての期間、35歳以上では10年間を限度として通算して最大20年間受けられます。

今年も、全地区１等米になりました！

平成19年産米初出荷

平成19年産米の初出荷が、永山地区・神居地区を皮きりに9月12日から始まった。
今年は、平年に比べ6月から8月までの気温が高く、好天が続き生育は順調に進んだ。
所前検査においては、今年も全地区1等米であった。

9月12日　真鍋 正一さん

9月12日　一宮 敏昭さん

9月13日　岩井 敬治さん(写真は岩井 敬樹さん)

9月13日　岩崎 裕さん

9月17日　写真左上>左から、北澤 勇治さん、
中井 孝之さん、山下 寿明さん
写真右上>若栗 克美さん

知っ得情報

新米だけじゃなく
新そばも
初出荷しました！

野菜の規模拡大、品質向上を考えた上での低コスト経営が目標。

旭正地区

山下 信敏さん

一走インタビュー

1 生年月日は?	…昭和56年1月21日
2 家族構成は?	…父、母、妻、祖父、祖母
3 趣味は何ですか?	…テニス、ボーリング
4 農業開始時期はいつですか?	…平成13年4月から
5 現在の農業経営スタイルは?	…野菜
6 目標(理想)の経営スタイルは?	…野菜の規模拡大、品質向上を考えた上での低コスト経営が目標です。
7 農業に対する抱負は?	…安全でおいしい野菜を提供したい。また、余裕があれば新しいことにも積極的に取り組んでいきたい。
8 農協に対する希望や要望は?	…野菜づくりしやすいように登録農薬の取得など。これからもサポートお願いします。

NOBUTOSHI YAMASHITA

様々な品種をそろえ、消費者に喜ばれる高品質な農産物をつくりたい。

神居地区

近澤 慎二さん

一走インタビュー

1 生年月日は?	…昭和60年2月6日
2 家族構成は?	…父、母、祖父、祖母
3 趣味は何ですか?	…スノーボード
4 農業開始時期はいつですか?	…平成16年から
5 現在の農業経営スタイルは?	…水稲、果樹(サクランボ、リンゴ、梨)
6 目標(理想)の経営スタイルは?	…施設の充実と品質向上が目標です。
7 農業に対する抱負は?	…様々な品種をそろえ、消費者に喜ばれる高品質な農産物をつくりたい。
8 農協に対する希望や要望は?	…資材などの価格を安くしてほしい。
9 理想の女性像は?	…一緒にいて楽しい人。

SHINJI CHIKAZAWA

地産地消 de レシピ 11月号

冬に向けて漬け物が恋しい季節。
冬野菜を漬けてみよう！

漬け物三題

漬け物は、私たちの生活に欠かせないものです。漬け物ほど、先人の知恵が豊かに伝えられているものはないのではないでしょうか。今回は、秋の収穫が一段落するこれからの時期に、手がけていただきたい“漬け物三題”をお届けします。

材料

- 大根20kg
- こうじ2～2.5kg
- 塩(粉砕塩) 500g
- キザラ1.3～1.5kg

作り方

①まず、大根を10日くらい干す。(大根の形がレの字になるのが目安)
②次に樽の底に麹をしき、大根と交互に並べ、重ねていく。
③最後に、麹と大根葉（干したもの）でフタをするようにして、麹をふりかける。
④材料と同量の重石をする。(水が上がってきたら軽くする)

ポイント

- ●20日程度漬けておくと、ちょうど美味しくなります！
- ●粉砕塩は、味にまろやかさが出るので、他の漬け物にもおすすめです！

■小技紹介1 冬越えのたくあん漬け

せっかく漬けた、「たくあん」を夏までもたせる小技一覧

	夏越し	夏出し(6月位)	春出し(3月位)
大根(本)	30～50	25～30	25～30
乾燥日数	21～22	14～15	11～12
塩(粉砕塩)	10カップ	5.5カップ	3カップ
米ぬか	7カップ	10カップ	15カップ
キザラ	3カップ	3カップ	3カップ

■小技紹介2 漬け物の素

これがあれば、何でも漬けられる小技レシピ

麹 / ご飯 / キザラ / 塩(粉砕塩)

それぞれ各1合を、混ぜ合わせ、1ヶ月ほど常温で、やわらかくなったら完了です！

※ハクサイの間に丁寧に塗り込んだり、お好みで、刻み昆布を入れてもOK！(あまり厚く塗ると、しょっぱくなるのでご注意！) また、キザラがないときは、上白糖よりも「グラニュー糖」がおすすめです！

今月の豆知識

■漬け物と健康の関係

漬け物は野菜を原料としているため、野菜ならではの食物繊維やビタミン類、カロチノイド等を含み、生活習慣病予防に大きな効用があるといわれています。近年、洋食が主流となり、糖尿病・循環器病・狭心症などの生活習慣病が問題になっています。健康のためには、植物性食品を主とし、動物性食品の肉類は従とするのが良いといわれています。その結果、乳酸醗酵した漬け物は、近年、健康食品として見直されているのです。

▲小学生の苗には見事な黄金の穂がつき、稲刈りは大成功！

北野

小学生の稲刈り・脱穀体験教室を開催

青年部北野支部が小学校授業に協力

9月12日（水）、JAあさひかわ青年部北野支部（部長・神田智靖）は、鷹栖町北野小学校5・6年生を対象に稲刈り体験教室を開催した。5月中旬に小学校横のほ場約2aに小学生が作った「ほしのゆめ」の苗と、青年部が作った苗を田んぼに移植した。

小学生は、親と一緒に自宅で牛乳パックの中などで苗を作り、稲の一生を観察するという授業の一環であった。小学生たちの苗は、見事に黄金の穂をつけており、刈り取った稲で八サ掛けを行った。作業はケガなく無事終了することができた。

また、10月10日（水）には、八サ掛けで乾燥させた稲の脱穀作業を行い、昔の脱穀作業から今日のコンバイン脱穀作業まで青年部員が説明し、小学生一人ひとりに体験してもらった。その後、小学生たちから様々な質問が飛び出すなど、青年部も応答に困るような場面もあったが、有意義な一日となった。

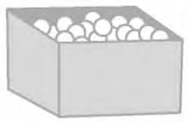
12月中旬までに7，000俵

旭正地区で白大豆の乾燥・調整はじまる

▼12月中旬まで白大豆の調整は続く

平成19年産白大豆の乾燥・調整作業が旭正地区で始まった。ほ場で刈り取った大豆をフレコンに満杯に詰め、工場で調整後、60kgの袋詰めにし、検査を受ける。中には、手よりで選別しているものもあり、大変な作業でもある。

旭正地区の他、北野・永山地区の調整もあわせると、176ha分およそ7，000俵の調整が12月中旬くらいまで続く予定となっている。



旭正

▲天気にも恵まれ、和気あいあいとお互いのウデを競い合った

永山

副会長の坪崎巍さんが優勝

永山年金友の会パークゴルフ部会第3回大会

10月4日（木）、永山年金友の会パークゴルフ部会（会長・河口広志、会員数27名）の第3回大会が開催された。

今回の大会には17名の会員が参加し、東神楽の忠別河川運動公園のパークゴルフ場でウデを競い合った。当日は、天気にも恵まれ、少し汗ばむ中、みんなそれぞれ真剣にプレーし、また、和気あいあいと親睦も深め合って充実した楽しい1日となった。

優勝杯は、見事、副会長の坪崎巍さんが獲得し、全員の賞讃を浴びていた。

近文クローバー友の会が2連覇！

旭川中央基幹支所で5地区対抗パークゴルフ

中央

▼昨年に続き近文クローバー友の会が優勝し、2連覇達成！

8月23日（木）、旭川中央基幹支所管内5地区による対抗パークゴルフ大会が開催された。参加チームは、北部さつき年金友の会、神楽年金同友会、近文クローバー友の会の3チームであった。

当日の朝は小雨がぱらついていたが、会場となったパークランド嵐山では澄み切った青空が広がっていた。浅田理事の開会宣言と準備体操のあと、参加者55名（男性32名、女性23名）が15グループに分かれて、日頃の練習の成果を競い合った。団体戦は、各地区上位8名のスコア合計で競った結果、優勝は昨年に続き近文クローバー友の会が2連覇と圧勝であった。また、個人戦では、林茂光さん（近文）、岩崎秀子さん（北部）がそれぞれ優勝した。

今回は、ホールインワンが出るなど好プレー、好スコアが続出し、互いに来年の再会と健闘を誓い合い解散した。来年は、今回不参加の旭川中央クローバー友の会と貸家協議会の参加も得て、一層の盛り上がりが期待される。

一打一打に親睦と交流の願い込めて
神楽年金同友会パークゴルフ大会開かれる

神楽年金同友会（会長・森山茂、会員数272名）は、9月11日（火）、神楽パークゴルフ場で、平成19年度2回目のパークゴルフ大会を開催した。

前日は雨が降り止まず、開催が心配されたが、参加者の熱意に押されたかのように大会当日は晴天となり、38名の参加者が元気にプレーを展開した。

▲スコアは僅差で、参加者のプレーも白熱！

参加者は一打一打に力を込めウデを競い合い、好プレーが出ると大きな歓声が上がるなどそれぞれプレイを楽しんだ。残念ながらホールインワンは飛び出さなかったが、スコアは僅差の白熱したものとなった。また、表彰式では、各自、スコア表を見てプレーを振り返り、次回大会への決意を新たにしている姿が見られた。

新会員も何名か参加しての大会となり、会員の親睦・交流を深められた事で、次回の大会がさらに盛況になることを願い、今大会は終了した。

中央

3D劇場で火山噴火の恐ろしさ体験
神居支所女性部が幹部研修会を開催

▼繁忙期の疲れを癒し、役員の交流を深めた

10月12日（金）、神居支所女性部は幹部研修会を開催した。

まず、一行は、JAびえいの直売所、道の駅を巡り白金の望岳台へ向かった。山頂につく頃には、みぞれが霰に変わるほど寒くなっていたが、雄大な景色と色とりどりの紅葉を満喫した。

次に、美味しい昼食と温泉で温まり、十勝岳砂防情報センターへ向かった。ここでは、3D劇場での立体映像と振動する椅子で火山噴火の恐ろしさを生で体験した。

今回は、あいにくの天候だったが、繁忙期の疲れを癒し、役員の交流を深める有意義な研修会となった。

神居

恒例の新米おにぎり試食会
旭川市内農協連が西川市長を訪問し開催

9月25日（火）、例年行われている市内4農協の旭川市内農協連絡会議（会長・山本隆一）で、旭川市長（西川将人）並びに市議会議員へ新米おにぎりが差し入れられた。

今年度は、JAあさひかわで収穫されたYES!cleanで作った新米おにぎりが使われた。

会議では、訪問した長田克己副会長ら11名が、今年の米の収穫状況等を報告し、「ほしのゆめ」で作った新米おにぎりを試食しながら懇談した。西川市長は、新米おにぎりを味わいながら、「おいしいですね。旭川産米の価格が良い方に向かうといい。道産米のおいしさはだんだん認知されてきている。機会を作ってぜひPRしたい」と話していた。

味自慢。新メニュー誕生!

10月30日より販売開始!

江丹別そば処「穂の香」で新メニューの販売がはじまりました!
昨年に引き続き、冬期メニューとして豚もちそば、新メニューは、
親子そば、かしわそばと計3種類。ぜひ、一度ご賞味ください!

豚もちそば 700円(単品) 800円(セット)
親子そば 700円(単品) 800円(セット)
かしわそば 650円(単品) 750円(セット)

江丹別そば処 穂の香 旭川市永山2条19丁目（39号線沿い永山駅前通り） TEL0166-48-7530

米の販売推進活動状況報告

大阪方面米販売促進【9月10日～11日】

フジオフード

2月・5月の来訪並びに、播種前契約6,000俵のお礼と、フジオフード看板設置ほ場・田植体験ほ場の生育状況をデータで提供し、収穫の時期と下見検査での品質についての案内と共に稲刈り体験事前打合せをした。

また、前回訪問時にJAより提案の「あさひかわクリーン米」の旗を新米取扱時に合わせて作成し、JAあさひかわ産米取扱店に配布することになった。

ホクレン名古屋支店

名古屋支店担当エリアの北海道産米は、平成16年産米以降大幅に伸びており、卸しの評価も3年連続良品質米生産から北海道産米が見直されている。しかし、平成19年産米の販売については、先安感から厳しい状況が続き、播種前契約25%の残りを現在特定契約で販売推進している。平成18年産米を上回る価格で交渉しているが、全国の作柄と過剰作付け及び平成18年産米の持ち越し在庫から、平成19年産米としての価格の居所がたたず、苦戦が予測される。

大和産業株式会社

7月の来訪のお礼と水稲作柄状況を報告し、「ＪＡあさひかわ産YESIclean米きらら397」の集荷及び供給日程等について打合せした。10月から新米切り替えの要望を受け、ライスターミナル製品は、施設受入能力から後半となり、初売りは所前検査もので対応し、その後、ライスターミナル製品を供給することで了解を頂いた。

フジオフード来訪【9月22日】

フジオフード(株)の洞出部長、伊藤忠ライス西尾部長代理他6名が、5月に田植えしたほ場の稲刈り体験に来訪された。初めに、平成19年産米の収穫状況と集荷関係を案内し、JAあさひかわ産新米ほしのゆめと江丹別産新そばを試食して頂いた。その後、フジオフード看板設置ほ場の生育確認と稲刈り体験ほ場（永山・松田政晴さん宅）で稲刈り体験をして頂いた。

稲刈り体験では、降雨続きで田んぼがぬかるみ、歩きにくい中、なれない足取りでほ場に入り、鎌での刈り取りとコンバインに乗車しての刈り取りを体験された。初めて鎌で稲刈りされた方がほとんどで、楽しく有意義な収穫の一時を過ごされた。

一緒に汗を流して、農業を語ろう

新入職員農業研修

今年度入組した23名の新入職員の農業研修が、8月27日（月）から9月21日（金）まで実施された。研修期間は１週間。農協職員として、農業の大切さや苦労を身をもって経験することを目的に、今年度から実施されることになったもの。各地区の組合員さん宅で、実際に野菜や水稲の収穫作業など農作業を体験し、一緒に汗を流し労働した。実習先等は下記の通り。

研修終了後、農業実習体験発表会でそれぞれの体験を発表しました。

農作業は大変だったけど、労働で流した汗は気持ち良かった！

実際に体験してみると農業の大切さや苦労がわかりました！

氏　名	所属部署	実習先(敬称略)	
		組合員氏名	住　所
三高　麻梨絵	管理部経営管理課係	田中　勝	神居地区
橋本　尚弥	金融共済部共済専任渉外課係	荒川　保	旭正地区
定免　光祐	金融共済部共済課事故サービスセンター係	田中　勝	神居地区
高橋　麻子	経済部営農企画課企画外郭組織担当(農産物直売所担当)係	川合　篤志	北野地区
村上　達也	経済部営農販売課営農渉外専任農産担当係	笠井　好一	永山地区
清水　亜沙美	旭正金融支所融資相談課係	長田　行雄	旭正地区
吉崎　隆裕	豊岡金融支所貯金共済課係	千葉　明	旭正地区
木下　和也	神居金融支所貯金共済課係	馬木　信幸	神居地区
美馬　佑香	神居金融支所貯金共済課係	藤原　正光	神居地区
鈴木　暁	神居金融支所融資相談課係	島山　守穂	神居地区
浅田　梨絵	忠和金融支所係	山中　憲明	神居地区
大友　雄一	北野金融支所貯金共済課係	東出　明男	北野地区
千葉　直美	北野金融支所貯金共済課係	東出　明男	北野地区
鈴木　晶善	旭川中央金融支所貯金共済課係	只石　武	旭川中央地区
永田　隆	北部金融支所貯金共済課係	市川　彰男	旭川中央地区
東　拓央	神楽金融支所貯金共済課係	溜浅　満和	旭川中央地区
佐々木 沙織	緑ヶ丘金融支所	上島　由満	旭川中央地区
浅野　沙也香	神楽金融支所貯金共済課係	業天　市太郎	旭川中央地区
根本　愁也	末広金融支所係	岩井　敬治	旭川中央地区
柴田　美菜	神楽金融支所融資相談課係	業天　市太郎	旭川中央地区
梶　友憲	永山金融支所貯金共済課係	笠井　好一	永山地区
高橋　幸子	永山金融支所貯金共済課係	白鳥　隆志	永山地区
幸村　英明	永山西金融支所係	千代　圭	永山地区

ミニトピックス

上川地区に初の栄冠！

深紅の優勝旗を手に！ JAあさひかわ野球部

9月11日（火）・12日（水）の2日間に亘り、江別市において開催された第48回全道JA野球大会において、JAあさひかわ野球部は上川地区に初の優勝をもたらした。

1回戦JAようていに7対0、2回戦JAおとふけに5対0、準決勝JAいわみざわに3対0と順調に勝ち抜き、ついに、決勝戦では強豪JA北いしかりとの対戦となり、3対1と見事に勝利を収め、深紅の優勝旗を手にすることができた。この大会で、今年度のJAあさひかわ野球部の活動は、全て終了した。

あさがおで初の試み

農産物直売所「あさがお」“移動朝市”開催！

7月下旬に開店1周年を迎え、2年目に突入した農産物直売所「あさがお」では、8月25日（土）、9月1日（土）の両日に、〝移動朝市〟を開催した。

場所は、神楽セルフスタンド横の駐車スペースを利用して、朝6時から開店。朝靄のかかる中から、自転車で駆けつけたり、散歩途中に足を止めたりと、多くの人々で賑わっていた。

〝移動朝市〟は2回だけの開催だったが、「まだ続けて欲しい！」との声もあった。今回、消費者の多くが求めているのは、新鮮で安全・安心な野菜だということを改めて知るいい機会となった。

理事会だより

第7回理事会

平成19年8月28日(火)

●協議事項

1. 平成19年度7月末に於ける事業実績（子会社含む）及び仮決算（子会社含む）の状況について
2. 大口貸付について
3. 平成19年産米出荷取扱について
4. JA北海道グループ「食の安全・安心確保対策本部」ポジティブリスト損害見舞金制度加入について
5. 規程類の廃止及び制定について
6. 固定資産の取得に伴う借入について
7. その他

●報告事項

1. 内部監査の実施報告について
2. 経営定期点検実施報告について
3. 地区内営農状況について
4. 豊岡セルフ給油所のオープンについて
5. 農産物直売所「あさがお」のイベント開催について
6. 上川ライスターミナル事業実績・事業計画について
7. 購買事業（Aコープ店）運営方針策定スケジュールについて
8. 低温農業倉庫新設に係る経過について
9. 第6回JAあさひかわ農業まつりについて
10. 組合員の加入及び脱退の状況について
11. 系統連合会の出資配当及び事業割戻状況について
12. 人事異動について
13. 有価証券の取得について
14. 系統外預金与信状況について
15. その他

第8回理事会

平成19年9月27日(木)

●協議事項

1. 平成19年度8月末に於ける事業実績（子会社含む）及び仮決算（子会社含む）の状況について
2. 大口貸付について
3. Aコープ店舗改善方針について
4. 規程類の全面変更及び一部変更について
5. 固定資産の取得に伴う借入について
6. 寒冷地手当の支給について
7. 役員視察研修について

●報告事項

1. 中間監事監査の実施報告について
2. 内部監査の実施報告について
3. 知事と主務大臣が共同で行う農業協同組合検査の実施について
4. 全国農業協同組合中央会による財務諸表等監査（期中監査）の実施について
5. 地区内営農状況について
6. 低温農業倉庫新設に係る経過について
7. 要領等の一部変更について
8. 人事異動について
9. 有価証券の取得について
10. その他

営業時間変更のお知らせ

11月1日より、下記の営業時間に変更となります。
（上記以外の金融支所および給油所につきましては、営業時間に変更はありません。）

	平　日	土曜日	日・祝日
旭正営農センター 永山営農センター 神楽営農センター 神居営農センター 江丹別営農センター 北野営農センター 西神居支所(購買事業)	(11月~3月) 9:00~ 17:00	(11月~3月) 休　業	休　業
永山給油所	8:00~ 19:30	8:00~ 19:30	8:00~ 19:00
神居給油所			
北野給油所			8:00~18:30
旭正給油所	8:00~18:00	8:00~18:00	8:30~17:30
西神居支所(給油事業)	8:00~18:00	8:00~18:00	9:00~17:00
江丹別そばの里	(11月~3月)11:00~16:00（木曜定休日）		

【採用】お願いします

日　付	氏　名	職　責	役　職
9/3	鈴木　淳也	準職員	経済部営農企画課企画外郭組織担当係
10/1	西山　良雄	準職員	神楽給油所係（定年退職者再雇用）

【退職】お世話になりました

日　付	氏　名	職　責	役　職
9/30	西山　良雄	係	神楽給油所係

お詫び

前回9月号の北野トピックスで誤りがありました。
●鷹栖地区では59戸の生産者 → **100戸**
●450アールのトマトを栽培 → **約1ヘクタール**
●北野地区では39戸の生産者 → **42戸**
訂正してお詫び致します。

おくやみ

謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

8/1　岸　茂松さん　旭正地区共栄3農事組合
8/28　沢崎 政子さん　旭正地区旭正1農事組合
9/14　上坂 秀雄さん　旭川中央地区北門(旭川)農事組合
9/22　三宅 康治さん　永山地区11区農事組合
9/26　鷲尾 アヤさん　神居地区雨紛2農事組合
9/27　宗万 賢治さん　旭川中央地区神楽岡農事組合(元役員)
（ともに正組合員）

概要

JA ASAHIKAWA あさひかわ

（平成19年9月末実績）

組合員数	正組合員	2,663名
	准組合員	24,082名
	合　計	26,745名
出資金残高		1,926百万円
販売取扱高		2,493百万円
生産資材供給高		1,255百万円
給油所供給高		1,102百万円
生活供給高		288百万円
貯金残高		95,682百万円
融資残高		19,260百万円
長期共済保有高		2,194億円